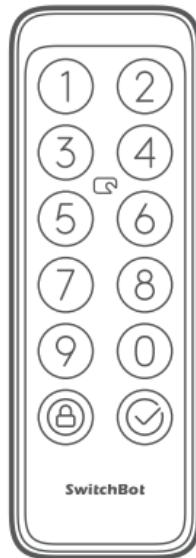


SwitchBot キーパッド

取扱説明書



www.switchbot.jp
V2.2-2207

このたびは、SwitchBot製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

もくじ

1. パッケージ内容	01
2. 各部のなまえ	03
3. お使いになる前に	04
4. 設置する前に	05
5. 安全上のご注意	06
6. 設置	07
7. キーパッドの取り外し方法	16
8. 使用上のご注意	17
9. LED表示ランプ・サウンド	18
10. パスコード解錠	19
11. NFCカード解錠	21
12. 電池交換	22
13. デバイスの登録解除	23
14. デバイスの紛失	23
15. フームウェアアップデート	23
16. 困ったときは	24
17. 製品仕様	24
18. 免責事項について	25
19. 保証	26
20. アフターサービス	27

パッケージ内容



キーパッド
本体×1



取付金具×1



型紙シール×1



両面テープ×1



CR123A電池×2



取扱説明書×1



クリーニング
ティッシュ×1



取り外しピン
×1



ゴムリング
×2



SwitchBotカード
×1

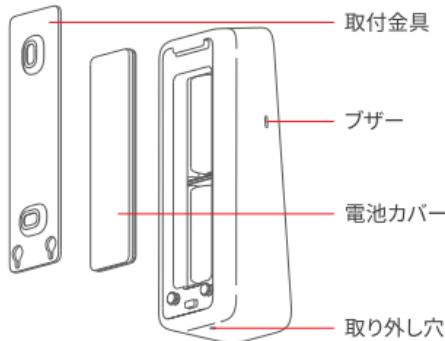
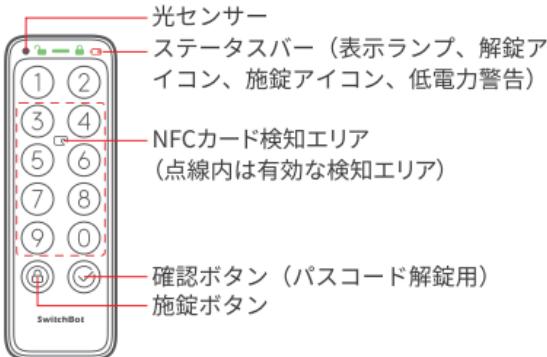


セパレータ
×1



ネジパック(3.5×25mmネジ×2、
拡張ボルト×2)×1

各部のなまえ



※イラストは説明イメージのため、実際とは多少異なる場合があります。また、製品及び取扱説明書は改良のため予告なく変更する場合があります。

お使いになる前に

- ・スマホやタブレットのBluetoothバージョンが4.2以上を確認してください。
- ・下図のQRコードをスキャンして、SwitchBotアプリをダウンロードしてください。
- ・SwitchBotのアカウントをログインもしくは作成してください。

※遠隔で解錠パスコードを設定する、もしくは通知を受信するには、SwitchBot ハブミニ（別売）が必要です。予めご了承ください。



設置する前に

- 1.電池カバーを開け、電池のプラス、マイナス(+極・-極)を注意して正しく入れてください。そして電池カバーを閉めます。
- 2.SwitchBotアプリにログインしてください。
- 3.SwitchBotアプリを開いてホーム画面の右上にある「+」アイコンをタップして、デバイスの追加画面に入ります。SwitchBotキーパッドのアイコンをタップして、指示に沿ってデバイスを追加してください。

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために必ずお守りください。
- ・高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
 - ・極端に高温や低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。発火・発熱・変形や故障の原因となる場合があります。
 - ・火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
 - ・お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。
 - ・ワイヤレスデバイスの使用を禁止される場所で使用しないでください。故障・傷害の原因となります。
 - ・落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。発火・破裂・故障・発熱の原因となります。
 - ・製品に異常が発生した場合はただちに使用を中止して、販売店・弊社にご連絡ください。

設置

方法1：ネジで設置

取り付ける前に、ご自分で用意するもの：



電動ドリル



ゴムハンマー



鉛筆

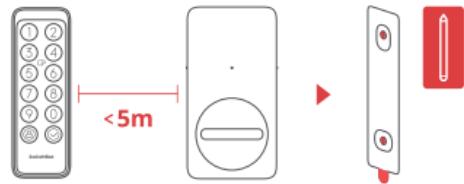


ドライバー

Step 1 設置位置を決める

ご注意：キーパッドとSwitchBotロックの制御範囲は5メートル以内です。設置位置を頻繁に変更すると壁を傷つける恐れがありますので、取付ける前に、アプリにキーパッドを追加し、キーパッドとSwitchBotロックの設置位置は5メートル以内に設置してください。

アプリにキーパッドを追加した後、設置ガイドに従って設置位置を決めます。手でキーパッドを固定してSwitchBotロックを解錠・施錠することができるか確認してください。解錠・施錠ができるなら、型紙シールをその位置を貼り、鉛筆でネジ穴の位置をマークしてください。



Step 2 ドリルビットのサイズ確認と穴開け

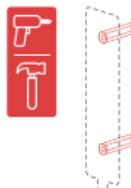
ご注意：屋外に設置する場合は、他人が簡単に持ち去られないように、ネジで設置することをお勧めします。コンクリートの壁やその他の硬い表面に穴を開けることは難しい場合があります。経験がない方は、専門業者に依頼してください。

穴を開ける前に電動ドリルをご用意ください。

①コンクリート/レンガなどの表面に取り付け：
約6mmのドリルビットを選択して、先ほど鉛筆でマークした位置に穴を開けます。ゴムハンマーで拡張ボルトを壁に打ち込みます。

②木/漆喰などのねじ込むことができる表面に取り付け：

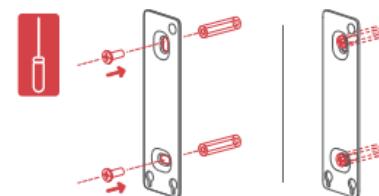
約2.8mmのドリルビットを選択して、先ほど鉛筆でマークした位置に穴を開けます。拡張ボルトを打ち込む必要がありません。



Step 3 取付金具を固定する

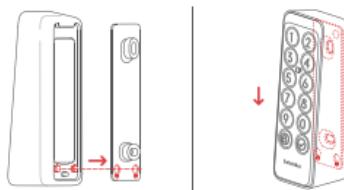
ご注意：設置位置が平らでない場合は、取付金具にある2つのネジ位置の背面にゴムリングを配置する必要があります。

取付金具をネジで壁に取り付け、金具の両側を手で押しても搖れがないように固定してください。



Step 4 キーパッドを取り付ける

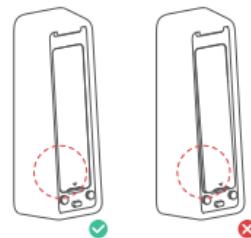
キーパッドの背面にある2つの金属製の丸いジョイントと取付金具の下部にある2つの丸い穴を合わせ、パッチと音がするまでキーパッドを押し付けながら下へスライドします。貼り付け後、取付状態を確認してください。



取付金具に取付できない場合、下記の対処方法をご参照ください。

①電池カバーと電池ボックスを合わせてしっかりと取り付けたか確認してください。取付状態を確認した後、もう一度取付金具に取り付けてください。

②上記①の方法で解決できない場合、取り付ける壁は平らではないか確認してください。壁が平らではない場合、取付金具と壁の間に隙間があるなら取り付けできません。取付金具と壁の間に十分なスペースを確保するために、取付金具にある2つのネジ位置の背面にゴムリングを配置してください。



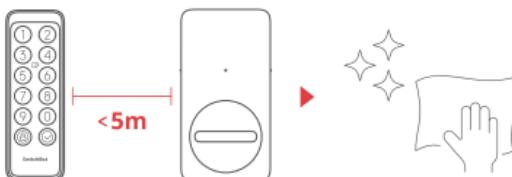
方法2:両面テープで設置

Step 1 設置位置を決める

ご注意:

- ①キーパッドとSwitchBotロックの制御範囲は5メートル以内です。設置位置を頻繁に変更すると壁を傷つける恐れがありますので、取付ける前に、アプリにキーパッドを追加し、両方の位置は5メートル以内に設置してください。
- ②両面テープは、なめらかなドアの表面、ガラス、タイル、その他のなめらかな表面にのみ固定できます。貼り付ける前に、取付表面をクリーニングティッシュで綺麗にしてください。(他人が簡単に持ち去られないように、ネジで設置することをお勧めします。)

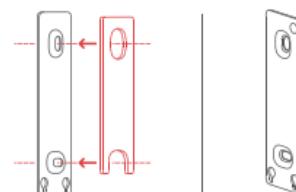
アプリにキーパッドを追加した後、設置ガイドに従って設置位置を決めます。手でキーパッドを固定してSwitchBotロックを解錠・施錠することができるか確認してください。解錠・施錠ができるなら、鉛筆でその位置をマークしてください。



Step 2 取付金具を固定する

ご注意:両面テープがはずれないように、取付表面を綺麗にし、両面テープと取付表面の温度が0°C以上であることをご確認ください。

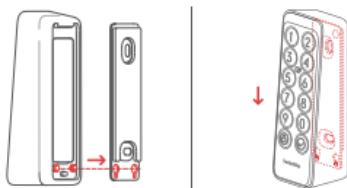
まず両面テープを取付金具の背面に貼り付け、先ほど鉛筆でマークした設置位置に貼り付けます。貼り付け後、はずれないように2分ほど強く押し付けて、取付状態を確認してください。



Step 3 キーパッドを取り付ける

ご注意：取付金具がしっかりと固定していることを確認した後、このステップを行います。

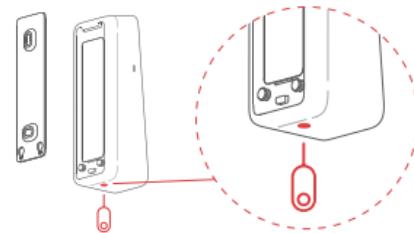
キーパッドの背面にある2つの金属製の丸いジョイントと取付金具の下部にある2つの丸い穴を合わせ、パッチと音がするまでキーパッドを押し付けながら下へスライドします。貼り付け後、取付状態を確認してください。



キーパッドの取り外し方法

ご注意：キーパッドに構造上の損傷を与える可能がありますので、無理に取り外さないでください。

取り外しピンを使用してキーパッドの下部にある取り外し穴を挿しながら、キーパッドを上にスライドして取り外します。



キーパッド取り外しアラート

- 取り外しアラートは、デバイスが追加されると自動的に有効になり、キーパッドが取付金具から取り外されるたびに取り外しアラートがトリガーされます。
- 正しいパスコードや SwitchBotカードを使用して、アラート警告を解除できます。

使用上のご注意

- ・本製品に無理な力がかかるないように使用してください。
- ・電池切れの場合で解錠できないので、アプリまたは製品の表示ランプにて電池残量を定期的に確認してください。低電力の提示がきたら早めに交換してください。なお、電池切れで閉め出されることを防止するために、今まで使っていた物理的な鍵を持ち歩いてください。
- ・お手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。

LED表示ランプ・サウンド

LED表示ランプ・サウンド状態	デバイス状態
表示ランプが緑色に早い点滅	デバイス追加の準備ができた
表示ランプが緑色に遅い点滅→消灯	ファームウェアがアップデート中→完了
スリープ解除後低電力警告が点灯、ブザーが2回鳴る	低電力警告
解錠アイコンが点灯、ブザーが1回鳴る	解錠成功
施錠アイコンが点灯、ブザーが1回鳴る	施錠成功
表示ランプが赤色に2回点滅、ブザーが2回鳴る	解錠/施錠失敗
解錠/施錠アイコンと赤い表示ランプが同時に1回点滅、ブザーが2回鳴る	ロックに接続失敗
赤い表示ランプとバックライトが同時に2回点滅、ブザーが2回鳴る	5回連続でパスコードを間違って入力した
赤い表示ランプとバックライトが同時に連続点滅、ブザーが鳴り続く	取り外しアラート

詳しくはsupport.switch-bot.com/hc/jaにてご確認ください。

パスコード解錠

- 1.パスコードの設定可能数:**100組まで設定することができます。その中、常に有効パスコードと一回のみ有効パスコードおよび期間内に有効パスコードを合わせて90組まで設定でき、緊急パスコードは10組まで設定できます。パスコード設定の上限に達した場合、新しいパスコードを追加したい時に既存するパスコードを削除する必要があります。
- 2.パスコード桁数:**6~12桁設定できます。
- 3.常に有効パスコード:**パスコードが常に有効です。
- 4.期間内に有効パスコード:**パスコードは設定された期間内に有効となり、最大5年まで有効に設定できます。
- 5.一回のみ有効パスコード:**パスコードは一回のみ有効となり、有効期間は1~24時間に設定できます。
- 6.緊急パスコード:**緊急パスコードで解錠すると、アプリは通知を送信します。
- 7.緊急パスコード通知:**通知を受信するため、SwitchBotハブに接続する必要があります。
- 8.緊急パスコード誤報:**覗き見防止技術により、入力された数字に緊急パスコードが含まれている場合、キーパッドは緊急パスコードと認識され、通知が送信します。緊急パスコード誤報を防ぐために、緊急パスコードを設定する時に他のパスコードと一致しない数字を設定してください。

- 9.覗き見防止技術:**正しいパスコードの前後にランダムな数字を入力、確認ボタンを押して解錠できます。正しいパスコードを含めて20桁以内のランダムパスコードを入力してください
- 10.連続のパスコード誤入力:**セキュリティ保護的目的として、パスコードの入力に連続5回間違えると、キーパッドは1分間使用不能となります。もう一度(6回目)入力を間違えると、キーパッドは5分間使用不能になります。間違える回数が増えれば増えるほど使用不能の時間が長くなります。例えば、1分、5分、10分、20分、40分、最大24時間までです。ただし、使用不能の時間が24時間に達した後に間違えると、さらに24時間ロックされます。
- 11.リモートでパスコード設定:**SwitchBotハブに接続する必要があります。

NFCカード解錠

1.NFCカードの追加可能数:常に有効NFCカードと期間内に有効NFCカードを合わせて100枚まで追加することができます。NFCカード追加の上限に達した場合、新しいNFCカードを追加したい時に既存するNFCカードを削除する必要があります。

2.NFCカード追加方法:アプリのガイドに従って、NFCカードをキーパッドのNFCカード検知エリアに近づけてください。追加完了する前に、NFCカードをそのまま検知エリアにかざしてください。

3.連続のNFCカード読み取り失敗:セキュリティ保護を目的として、NFCカード解錠に連続5回失敗すると、キーパッドは1分間使用不能となります。もう一度(6回目)失敗すると、キーパッドは5分間使用不能になります。失敗する回数が増えれば増えるほど使用不能の時間が長くなります。例えば、1分、5分、10分、20分、40分、最大24時間までです。ただし、使用不能の時間が24時間に達した後に失敗すると、さらに24時間ロックされます。

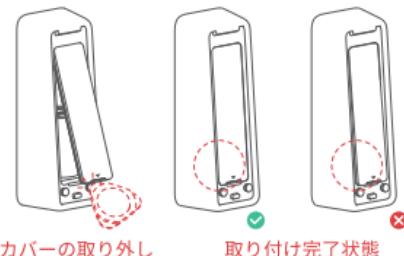
4.NFCカード紛失:紛失した場合、アプリで直ちに当該カードを削除してください。

電池交換

・電池残量が少なくなった場合は、デバイスがスリープ解除された際に低電力警告ランプとサウンド及びアプリの低電力通知が提示されます。電池交換の提示が来たら早めに交換してください。

・交換方法:SwitchBotキーパッドを取り外します。図に示すように、セパレータで電池カバーを開けて新しい電池(CR123A×2個)を交換してください。

※本製品が防水機能が搭載され、電池カバーと電池ボックスの間に防水シール剤がありますので、電池カバーの取り外しが難しいです。取り外し際に、付属品のセパレータを使用して取り外してください。電池カバーを取り付けた後、電池カバーと電池ボックスを合わせてしっかりと取り付けられているかを確認してください。



※使用済みの電池を捨てるとき:電池の端子部分にテープを貼り絶縁して捨ててください。市町村によってごみの捨て方が異なりますので、その指示に従ってください。

デバイスの登録解除

キーパッドを使用しなくなった場合は、SwitchBotアプリ内のキーパッドの設定ページに移動して登録を解除してください。キーパッドの登録が解除されると、キーパッドはロックを制御できなくなりますので、ご注意ください。

デバイスの紛失

キーパッドを紛失した場合は、早めに削除してください。削除後、紛失したキーパッドを見つかった場合は、ロックを再登録することができます。

詳しくはsupport.switch-bot.com/hc/jaにてご確認ください。

ファームウェアアップデート

より快適にご利用いただくために、常にファームウェアを最新のバージョンに更新することはおすすめです。新しいバージョンがあると、アカウントにアップデートの通知を送信します。ファームウェアのアップデートを行う際に、SwitchBot製品のバッテリーが十分であることを確認して、スマホをSwitchBot製品に近づけて行ってください。

困ったときは

下記のQRコードまたはウェブサイトにてご確認ください。

<https://support.switch-bot.com/hc/ja/sections/4845758852119>



製品仕様

製品型番: W2500010

色: ブラック

材料: PC+ABS

本体寸法: 112×38×36mm

本体重量: 125g(電池含む)

電池: CR123A電池×2

電池寿命: 約2年

使用環境: 屋内外

対応OS: iOS 11.0以降、Android 5.0以降

通信方式: Bluetooth Low Energy

動作温度: -25°C ~ 66°C

相対動作湿度: 10% ~ 90%(結露なし)

保護等級: IP65

免責事項について

- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中止、家財の盗難、施錠による締め出し状態）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社出荷時の科学・技術水準では、予見不可能だった事由により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

保証

保証期間がご購入日から1年間になります。保証期間内には製品の交換・返品・返金等を対応いたします。ただし、以下のいずれかに該当する場合は保証範囲以外でございます。

1. 不適切な取り扱いや誤用・乱用等による故障や損傷
2. 不適切な使用環境での使用や保存等による故障や損傷(例えば:水のかかる環境で使用したり、デバイスを取り付けする時の落下による故障)
3. 不当な修理や改造・分解及び異常電圧等に起因する故障や損傷
4. 本製品仕様に適合しないサードパーティのコンポーネントまたは製品との併用に起因する故障や損傷
5. 弊社が発行するガイドラインの範囲を超えた製品の操作に起因する故障や損傷
6. 火災・地震・水害及び盗難等の災害による故障や損傷
7. 電池などの消耗部品または経時に劣化が当然予測される部品
8. 公式サイトや店舗以外の方式でご購入の場合(例えば:中古屋で購入など)
9. その他当社の責任とみなされない故障や損傷

アフターサービス

製品についてのご意見とご不明な点等がございましたら、下記の方法でお気軽にお問い合わせください。

①SwitchBotアプリのプロフィールの「フィードバック」

フィードバックにはスマホスクリーンの録画機能があります。ご利用中に動作不良等の問題がございましたら、迅速に問題を判明させて頂くため、是非ご利用ください。

②サポートメールアドレス:

support@wondertechlabs.com

③サポートウェブサイト:

support.switch-bot.com/hc/ja

※お客様の個人情報のお取り扱いについて

弊社はお客様の個人情報を、弊社製品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。ご提供いただいた個人情報は適切に管理し、お客様の個人情報の保護に万全を尽くしてまいります。